

36年

- 春季リーグ戦優勝(3連勝、13回目)
- 秋季リーグ戦優勝(4連勝、14回目)
- 市口政光、世界選手権大会日本代表



部 長 高 堂 俊 弥

監 督 佐々木 敏

コ ー チ 西 脇 義 隆

主 将 市 口 政 光

副 将 福 家 義 夫

主 務 松 田 靖 彦

学連委員 松 田 靖 彦

4	荒 武 光 也、市 口 政 光、神 谷 和 巳、桂 新 次 岸 田 靖 彦、高 田 勝 三、中 野 隆 司、福 家 義 夫 松 田 靖 彦、松 浪 啓 一、吉 村 道 太郎、森 健 二 郎
3	西 本 浩 干、光 富 久 弥、伴 義 孝
2	石 井 正 樹、井 宮 茂、中 川 慈 之 助、山 本 定 夫 遠 藤 新 次、小 沢 修、脇 田 宏 明
1	丹 羽 功、西 尾 毅、平 田 保 夫、藤 井 敏 弘 村 山 栄 治、鶴 谷 正 夫、岸 本 戴 男

この年の思い出・36

市口 政光

昭和36年度、我々4年生、この時のメンバーは、主将市口、副将福家、主務松田、体育会委員森、に荒武、高田、松浪、神谷、吉村、桂、岸田、中野と12名の上級生が、ずらりそろって、部員数も当時、30数名に達していた。

この時の監督が、佐々木敞氏で、非常に、物静かで、思いやりのある暖い名監督であった。この時、関大レスリング部の活躍は、関西の学生リーグ戦では、春、秋、共に優勝と云う輝かしい勝利を残している。この当時は、部員数も多く、厳しい練習と“心身”を鍛える“場”を求める同志集団が、一致団結した、すばらしいチームだった様に思われる。

この当時、最も印象に残った出来事は、昭和35年の春期リーグ戦の時で、我々は3年生で、主将は堀江（旧木田）氏であった。我々は入学して2年間、一度も優勝した経験もなく、いつも決勝で関大に惜敗していた。しかしこの時ばかりは、苦しい合宿、厳しい鍛練にたえて、対関学戦で、5対5の大接戦で、同点、フォール数の多い関大が優勝を飾った事であった。これは5シーズンぶり11度目で、戦いと汗の結晶の結果だっただけに、その歓びの感激は、部員全員、心に伝わった事だろうと思われまます。勿論その年の秋も連勝、そして我々、36年度生が受けつぎ、4連勝し、その後連勝が続いて行った事を聞いている。

昔我々はスポーツを通じて一つの人間形成を目的とした。厳しい規律の中で人間の甘えを取り除く精神、閉鎖的な偏狭性は寝食を共にする生活の中で、溶解して行く。この様な心身鍛練の場が、関西大学レスリング部として残っている様に思われる。今後増々発展して行く事をいひます。

36 個人戦

関西選手権大会	フリー・F	山本 定夫	1位
	// ・B	伴 義孝	1位
	// ・B	光富 久弥	3位
	// ・L	福家 義夫	1位
	// ・L.H	森川 泰治(OB)	2位
全日本選手権大会	グレコ・B	市口 政光	1位

36 春

(36年5月17、18、19日、大阪市立阿倍野体育館)

関大	⑩	—	1	名城大
関学	⑦	—	4	名商大
近大	⑥	—	5	同大
関大	⑦	—	4	名商大
近大	⑨	—	2	名城大
関学	⑦	—	4	同大
名商大	⑨	—	2	名城大
関大	⑨	1引分け	1	同大
近大	⑦	2引分け	2	名商大
関学	⑧	—	3	名城大
関大	⑦	1引分け	3	近大
同大	⑨	—	2	名城大
関学	⑥	1引分け	4	近大
名商大	⑦	2引分け	2	同大
関大	⑧	1引分け	2	関学

主要戦個人勝敗表

		関大	⑧	1引分け	2	関学
F	荒武	○	—			後藤
F	山本	○	—			若田
B	伴	◎	2分45秒			松田
B	高田	○	—			久保
F e	松浪	△	分			△坂本
F e	市口	◎	0分24秒			岡本
L	神谷	○	—			平野
L	桂		2分52秒			◎小西
W	脇田		—			○羽田
W	石井	○	—			水島
M	松田	◎	2分14秒			大井

順位

1	関大	5勝
2	関学	4勝1敗
3	近大	3勝2敗
4	名商大	2勝3敗
5	同大	1勝4敗
6	名城大	5敗

36 秋

(36年10月27、28、29日、関学体育館)

関大	⑩	—	1	名城大
関学	⑧	—	3	同大
関大	⑧	—	3	同大
近大	④	フ ォ ー ル 数 勝 3 分	4	名商大
関学	⑥	—	5	名商大
関大	⑩	1引分け	0	名商大
同大	⑥	—	5	近大
関学	⑪	—	0	名城大
関大	⑧	—	3	近大
名商大	⑨	1引分け	1	名城大
名商大	⑦	—	4	同大
近大	⑥	—	4	関学
同大	⑩	—	1	名城大
近大	⑪	—	0	名城大
関大	⑥	2引分け	3	関学

主要戦個人勝敗表

	関大	⑥	2引分け	3	関学
F	山本	○	—		若田
F	荒武	○	—		金井
B	高田	◎	1分45秒		松田
B	伴	◎	1分12秒		後藤
F e	市口	◎	1分30秒		小崎
F e	松浪		—	○	坂本
L	福家	△	分	△	小西
L	藤井		1分15秒	◎	平野
W	石井	◎	2分00秒		大井
W	脇田	△	分	△	羽田
M	松田		—	○	水島

順位

1	関大	5勝	
2	関学	3勝2敗	31点
3	近大	3勝2敗	29点
4	同大	2勝3敗	27点
5	名商大	2勝3敗	25点
6	名城大	5敗	

37年

- ・西日本学生個人選手権大会始まる
- ・春季リーグ戦優勝（5連勝、15回目）
- ・秋季リーグ戦第3位
- ・松井清、ソ連・ルーマニヤ遠征日本代表チーム団長
- ・山本定夫、ソ連・ルーマニヤ遠征日本代表
- ・市口政光、世界選手権大会日本代表
- ・市口政光、アジア大会日本代表
- ・市口政光、朝日スポーツ賞受賞



部 長	高 堂 俊 弥
監 督	佐々木 敏
コ ー チ	西 脇 義 隆
主 将	伴 義 孝
副 将	光 冨 久 弥
主 務	西 本 浩 干
学連委員	西 本 浩 干 (総務)
4	西 本 浩 干、光 冨 久 弥、伴 義 孝
3	石 井 正 樹、井 宮 茂、中 川 慈之助、山 本 定 夫 遠 藤 新 次、小 沢 修、脇 田 宏 明
2	丹 羽 功、西 尾 毅、平 田 保 夫、藤 井 敏 弘 村 山 栄 治、鶴 谷 正 夫、岸 本 戴 男
1	今 村 房 雄、近 藤 圭 吾、松 田 嘉 之 (現 田 辺 嘉 之) 丹 司 憲、西 山 武 男、早 淵 隆 弘

この年の思い出・37

光 富 久 弥

私達の年代は、1年次当時同級生が7名在籍していましたが、2年、3年と経過するにしたがって、だんだんと減り4年生の時は、伴主将、西本主務、それに副将の私（光富）の3名でありました。

当時のレスリングの試合は、6分のスタンド、2分のグラウンド、2分のグラウンド、2分のスタンドの計12分の試合時間で、その間休憩なしです。最初の6分のスタンドがすめばその時点で相手より3点以上の得点をリードしている場合、ストレート・スルーといって、もしレスラーが後の計6分間をスタンド・レスリングを希望するならば続行できました。またグラウンド・レスリングをする場合は、レフリーが円いトスを投げて先攻者をきめて試合をすすめました。

昭和37年には、このルールが5分のスタンドの2ラウンド制となりその間に1分の休憩がもうけられるようになり、選手はこのルールの変更にとまどったものです。

リーグ戦は、マットサイドに相対しお互いに陣どり、OBの方も選手と一緒に最前列で選手への応援よりも相手チームへの強烈なやりとりがあり、一種独特なリーグ戦のムードの中で試合をしたものです。特に関々戦ともなれば大変なもので、OB諸氏が多数応援にこられて、半年間の練習の評価をされているようなもので、悪い所があれば試合終了後即指摘されたものです。5連覇にもえたことが奏効して春のリーグ戦は優勝でき、何んとも云えぬ喜びを全員でかみしめたものです。

この春12名卒業生を送りチーム力が激減したことと、春の苦戦のために、秋のリーグ戦前に45日間にわたる長期合宿を行ないました。経費削減のため自炊で、その材料も部員の寄贈の数羽の「年とったニワトリ」（本当にカタカツタ）をつぶして、何日間もスキヤキが続いたり、米は部員に米屋さんがいたのでそこで安価にわけてもらったり、マネージャーは大変でした。合宿期間中は勿論勉強にも精をだしておりました（本当かしら？）。

宇治の合宿の際（2年次の時）、禅寺で座禅、いまだに忘れがたい思い出です。部室の汗の匂い、合宿中雨が降りだしてロード・ワークが流れて喜んだつかの間の階段でのトレーニング、練習後医務室で耳の血を注射器で抜いての帰りの電車の中で水で冷したこと、その翌日の練習のいやであったこと、遠征時は必ず制服・制帽をつけたこと、大阪駅で応援団の激励のもとに夜行で上京したこと、思い出せば青春の一頁を賑やかに飾っております。

私達の年代は非常に恵まれておりました。ローマ・オリンピックがあり、次期オリンピックは東京で、何が何んでも勝たねばと、日本の体協関係者が総動員され底辺の拡大と選手の強化がおこなわれた時期です。

私達部員も中央や西日本地区の数回にわたる強化合宿に参加することができたし、また往年のメダリストたちより直接指導を受けることができました。そんな環境のもとに多くの優秀選手が生まれました。その背景には、西本主務のなみなみならぬマネジメントの努力があったのです。4年の間数名の選手が、海外遠征にでかけましたが、その資金調達や部員が練習に打ち込めるように対外的な仕事は完ペキにやってくれました。

しかし、何んと云っても4年間にわたるレスリングを通しての学生々活において、「自信」と「友

情」……何ごとにも変えることのできない財産を獲得したことが当時の部員全体の最大の喜びであり
 ましょう。先輩諸氏に感謝致しますとともに、後輩諸君のご健闘を心よりお祈り致します。「若き心
 に讃えなん」。

37 春 (37年 5月18、19、20日、名商大体育館)

近大	⑦	—	4	同大
同大	⑩	—	1	関学
名商大	⑥	—	5	同大
関大	⑧	1引分け	2	同大
近大	⑥	—	4	名商大
関学	⑨	—	2	名城大
関大	⑥	—	5	近大
同大	⑪	—	0	名城大
関大	⑩	—	0	名城大
名商大	⑪	—	0	名城大
近大	⑦	—	4	関学
名商大	⑥	—	5	関大
名商大	⑥	—	5	関学
近大	⑪	—	0	名城大
関大	⑥	—	4	関学

主要戦個人勝敗表

関大	⑧	1引分け	2	同大
F	遠藤	◎	0分22秒	吉原
F	山本	◎	2分55秒	勝山
B	岸本	△	分	△池田
B	光富	○	—	三浦
F e	小沢	◎	8分11秒	岩野(開)
F e	伴	◎	7分08秒	前
L	藤井	○	—	岩野(雄)
L	石井	◎	1分38秒	西野
W	早淵	○	—	隈本
W	脇田		2分45秒	◎増田
M	—		不戦	◎川端

順位

1	関大	4勝1敗	35点 (フォール数勝)
2	近大	4勝1敗	35点
3	名商大	4勝1敗	35点
4	同大	2勝3敗	
5	関学	1勝4敗	
6	名城大	5敗	

37 秋

(37年11月12、13、14日、大阪府立体育館別館)

近大	⑩	—	1	関学
同大	⑧	1引分け	2	名商大
関大	⑨	1引分け	1	関学
近大	⑦	—	4	同大
同大	⑥	—	5	関大
名商大	⑩	—	1	関学
関大	⑧	2引分け	1	名商大
同大	⑩	—	1	関学
近大	⑥	2引分け	3	名商大
近大	⑤	フオール 勝1引分	5	関大

主要戦個人勝敗表

	関大	5 ^{フオール} 勝1引分	⑤	近大
F	遠藤	○	—	田 辺
F	村山		—	◎田 中
B	山本	○	—	林
B	光富		—	◎東
F e	小沢		—	◎池 田
F e	伴	○	—	山 川
L	石井	◎	—	井 上
L	藤井	◎	—	福 岡
W	鶴谷		—	◎池 田
W	早淵		—	◎高 橋
W	脇田	△	分	△井 関

順位

1	近大	4勝
2	同大	3勝1敗
3	関大	2勝2敗
4	名商大	1勝3敗
5	関学	4敗

37 個人戦

西日本学生選手権大会	フリー・B	山本 定夫	1位
	〃・B	平田 保夫	3位
	〃・F e	伴 義孝	2位
関西選手権大会	フリー・F	村山 栄治	3位
	〃・B	山本 定夫	1位
	〃・B	小沢 修	3位
	〃・F e	伴 義孝	1位
	〃・L	早淵 隆弘	3位
国民体育大会	グレコ・B	市口 政光(OB)	1位
	〃・L	福家 義夫(OB)	4位
全日本選手権大会	グレコ・B	市口 政光(OB)	1位
全米選手権大会	グレコ・B	市口 政光(OB)	1位
アジア大会	グレコ・B	市口 政光(OB)	1位
世界選手権大会	グレコ・B	市口 政光(OB)	1位

38年

- 高堂俊弥先生、在外研究員として英米へ留学
- 佐藤博先生、部長代行（1年間）に就任する
- 春季リーグ戦第2位
- 秋季リーグ戦第3位
- 伴義孝、米国遠征日本代表
- 石井正樹、米国遠征日本代表
- 山本定夫、世界選手権大会日本代表
- 松井清、西日本学生レスリング連盟会長となる



部長 佐藤 博
 監督 佐々木 敏
 コーチ 西脇 義隆
 主将 石井 正樹
 副将 山本 定夫
 主務 井宮 茂

学連委員

4 石井 正樹、井宮 茂、中川 慈之助、山本 定夫
 遠藤 新次、小沢 修、脇田 宏明
 3 丹羽 功、西尾 毅、平田 保夫、藤井 敏弘
 村山 栄治、鶴谷 正夫、岸本 戴男
 2 今村 房雄、近藤 圭吾、松田 嘉之(現 田辺嘉之)
 丹司 憲、西山 武男、早淵 隆弘
 1 井加田 幸雄、加藤 善弘、佐藤 秀雄、住谷 昌昭
 中野 憲一、山本 邦夫

この年の思い出・38

石井正樹

関西大学レスリング部創立30周年を迎え、部誌編纂に当り、私共にも投稿する様にと要望がありましたので、何10年ぶりに原稿用紙と対面し、意を決してペンを取りましたが、唯々、まず目を勘定するのみで遅々としてペンは動かず日数を経て気ばかりあせるのみです。

ほんの10余年前の出来事なのに……。

頭の片角の思い出を少しずつ拾い集めまして予定数だけを消化致したく思い、只今必死になってペンを動かします。

昭和38年、東京オリンピックの前年に私達、

「主将 石井正樹」「副将 山本定夫」「主務 井宮茂」「体育会本部役員 中川慈之助」

「遠藤新次」「小沢修」の6名が最上級生となり、関西大学レスリング部の運営をまかされましたが、春秋のリーグ戦には、春は関学に、秋には同志社に共に敗れ、勝利の美酒を酌み交す事は無く、唯、無念の涙を流し、又先輩諸氏のお小言を頂きました事が、最大にして最悪の思い出です。もう一つは、同輩の山本定夫選手が、わがクラブより、日本代表選手として、スウェーデンで開催された世界選手権大会に出場し堂々の入賞（フライ級、グレコローマン・スタイル）をはたしてくれたことが最良の事です。以上、2つの事がらが現在でもすぐに思い出せる記憶です。その他、日々の練習やリーグ戦前及び春、夏の合宿、色々の個人戦等などは、おぼろげで文章にして皆様に御目にかけるほどの物はなにも一つもございません。唯、私達は春秋のリーグ戦に敗れましたが、翌年より後輩諸君の奮闘努力の結果、リーグ新の12連続優勝記録を樹立してくれました事が私達も何か役に立つ事が少しでもあったのではないかと誠に手前勝手にですが思っております。

現在、必死になって原稿用紙のまず目を埋める為、一応、私達なりに青春をかけた思い出を記させてもらいました。

「関西大学バンザイ」

「関西大学レスリング部創立30周年 バンザイ」

現役の諸君が頑張るに更に関大レスリングの歴史の1頁を飾られんことを祈っております。

38 春

(38年5月7、8、9日、関学体育館)

同大	⑩	—	1	名商大
近大	⑨	—	2	名城大
名商大	⑪	—	0	名城大
同大	⑪	—	0	名城大
関学	⑥	—	4	同大
関大	⑨	—	2	近大
関学	⑩	—	1	近大
同大	⑧	—	3	近大
関大	⑤ ^フ _{勝1引分}	—	5	同大
関大	⑨	—	2	名商大
関学	⑧	—	3	関大
関大	⑪	—	0	名城大
関学	⑨	—	2	名商大
関学	⑪	—	0	名城大

主要戦個人勝敗表

関大 3 — ⑧ 関学			
F	村山	—	○金井
F	山本	—	○松本
B	小沢	○ —	川畑
B	近藤	11分52秒	◎横山
F e	佐藤	—	○大井
F e	平田	—	○中上
L	石井	◎ —	榎本
L	中野	—	○水島
W	早淵	3分01秒	◎小西
W	西山	8分05秒	◎椿谷
M	藤井	◎ —	佐野

順位

1	関学	5勝
2	関大	4勝1敗
3	同大	3勝2敗
4	名商大	2勝3敗
5	近大	1勝4敗
6	名城大	5敗

38 秋

(38年11月15、16、17日、大阪府立体育館別館)

関大	⑥	2引分け	2	近大
同大	⑧	1引分け	2	名商大
関学	⑦	1引分け	2	近大
同大	⑨	1引分け	1	近大
関大	○	点数不明		名商大
関学	○	点数不明		名商大
名商大	⑥	—	5	近大
関大	⑥	—	5	関学
関学	○	点数不明		同大
同大	⑥	—	5	関大

主要戦個人勝敗表

	関大	5	—	⑥	同大
F	松田	◎	—		林
F	村山	○	—		勝山
B	丹司		—	○	池田
B	山本	◎	—		吉原
F e	早淵	○	—		岩野
F e	小沢		—	○	高橋
L	西山		—	○	平山
L	中野		—	○	増田
W	石井	◎	—		隅本
W	—		—	◎	丹羽
M	藤井		—	◎	川端

順位

1	同大	3勝1敗	28点
2	関学	3勝1敗	26点
3	関大	3勝1敗	25点
4	名商大	1勝3敗	
5	近大	4敗	

38 個人戦

西日本学生選手権大会	フリー・F	村山 栄治	2位
	// ・F	山本 邦夫	3位
	// ・F e	佐藤 秀夫	3位
	// ・L	中野 憲一	3位
	// ・W	石井 正樹	2位

東京国際スポーツ大会 (プレオリンピック) 兼全日本選手権大会

グレコ・B	市口 政光(OB)	1位
// ・F e	伴 義孝(OB)	5位

全米選手権大会 グレコ・F e 伴 義孝(OB) 3位

世界選手権大会 グレコ・F 山本 定夫 5位

39年

- 春季リーグ戦優勝(16回目)
- 秋季リーグ戦優勝(2連勝、17回目)
- 村山栄治、米国遠征日本代表
- 藤井敏弘、米国遠征日本代表
- 市口政光、東京オリンピック大会日本代表
- 市口政光、朝日スポーツ賞を受賞



部 長	高 堂 俊 弥							
監 督	佐々木 敏 敏							
コ ー チ	西 脇 義 隆							
主 将	村 山 栄 治							
副 将	藤 井 敏 弘							
主 務	丹 羽 功	副 務	西 尾 毅					
学連委員	西 尾 毅							
4	丹 羽 功、西 尾 毅、平 田 保 夫、藤 井 敏 弘	村 山 栄 治、鶴 谷 正 夫、岸 本 戴 男						
3	今 村 房 雄、近 藤 圭 吾、松 田 嘉 之 (現 田 辺 嘉 之)	丹 司 憲、西 山 武 男、早 淵 隆 弘						
2	井 加 田 幸 雄、加 藤 善 弘、佐 藤 秀 雄、住 谷 昌 昭	中 野 憲 一、山 本 邦 夫						
1	石 井 克 周、岡 田 雅 勝、大 津 馨、藤 田 裕 充	渡 部 和 夫、樋 口 利 輝						

39 春

(39年 5月15、16、17日、京都市立体育館)

同 大	⑨	1引分け	1	名城大
近 大	⑥	—	5	関 学
関 大	⑪	—	0	名商大
同 大	⑦	—	4	近 大
関 学	⑨	—	2	名商大
同 大	⑩	1引分け	0	名商大
関 大	⑧	1引分け	2	近 大
関 学	⑩	—	1	名城大
関 大	⑦	—	4	同 大
関 大	⑪	—	0	名城大
近 大	⑧	—	3	名商大
関 大	⑤	フオール 勝1引分	5	関 学
近 大	⑨	1引分け	1	名城大
同 大	⑦	1引分け	3	関 学

主要戦個人勝敗表

	関 大	⑤	フオール 勝1引分	5	関 学
F	岡 田	—			○金 井
F	山 本	—			○横 山
B	中 井	—			○川 畑
B	平 田	—			○松 本
F e	早 淵	—			○阿 倍
F e	佐 藤	○	—		大 井
L	藤 井	◎	4分10秒		安 部
L	中 野	◎	3分40秒		森 崎
W	大 籾	◎	0分20秒		椿 谷
W	井加田	△	分		△佐 野
M	藤 田	○	—		橋 本

順位

1	関 大	5勝
2	同 大	4勝1敗
3	近 大	3勝2敗
4	関 学	2勝3敗
5	名商大	1勝4敗
6	名城大	5敗

39 秋

(39年11月13、14、15、16日、関学体育館)

関大	⑪	—	0	桃山大
同大	⑩	—	1	名城大
近大	⑧	—	3	名商大
関学	⑪	—	0	桃山大
関大	⑩	—	1	名城大
同大	⑦	—	4	名商大
関学	⑩	—	0	名城大
関大	⑦	1引分け	2	近大
名城大	⑪	—	0	桃山大
関大	⑩	—	1	名商大
同大	⑧	—	3	近大
名商大	⑩	—	1	桃山大
関大	⑤	2引分け	4	関学
近大	⑧	—	3	名城大
同大	⑩	—	1	桃山大
関学	⑦	2引分け	3	名商大
関学	⑤	7オールド 勝1引分	5	同大
近大	⑪	—	0	桃山大
名商大	⑧	2引分け	1	名城大
関学	⑧	—	3	近大
関大	⑤	—	4	同大

主要戦個人勝敗表

関大		⑤	2引分け	4	同大
F	村山	◎	1分25秒		井上
F	山本	—			○吉原
B	丹司	—			○吉原
B	平田	—			○井筒
F e	早淵	△	分		△北村
F e	佐藤	○	—		岩野
L	大津	○	—		平山
L	中野	○	—		丹羽
W	藤井	○	—		隈本
W	大籾	△	分		△大橋
M	藤田		3分24秒		◎川端

順位

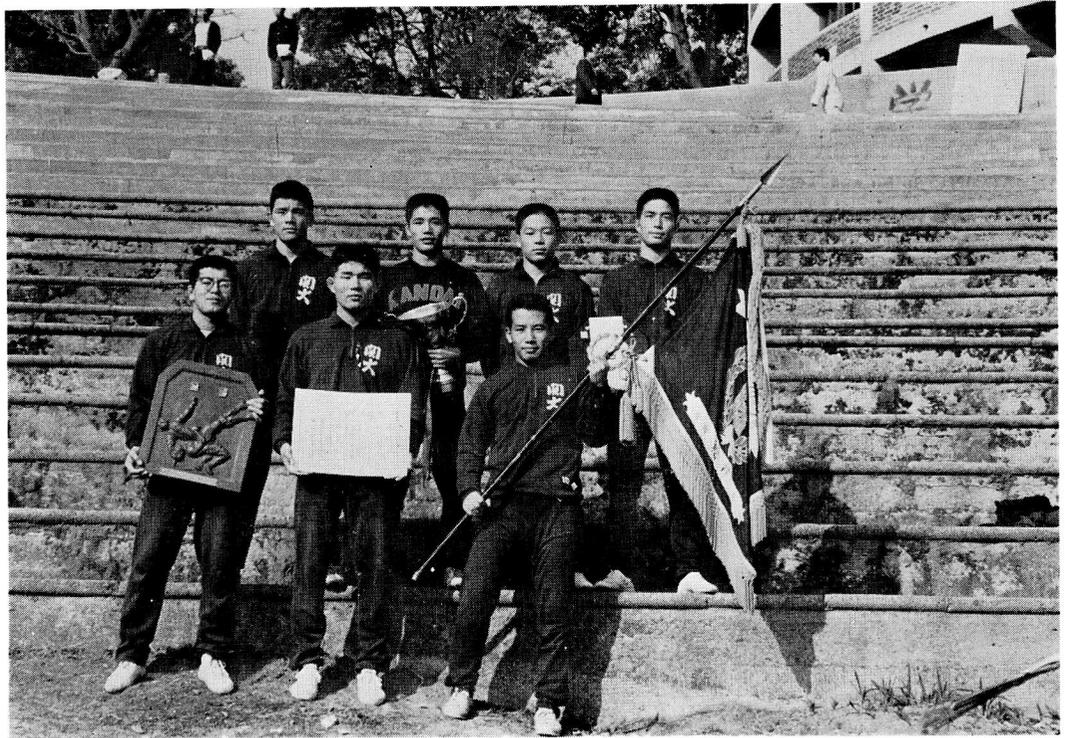
1	関大	6勝
2	関学	5勝1敗
3	同大	4勝2敗
4	近大	3勝3敗
5	名商大	2勝4敗
6	名城大	1勝5敗
7	桃山大	6敗

39 個人戦

西日本学生選手権大会	フリー・F	山本 邦夫	3位
	// ・B	岡田 勝雅	3位
	// ・L	中野 憲一	2位
	// ・M	藤田 裕充	2位
全日本選手権大会	グレコ・F	山本 定夫(OB)	2位
	// ・B	市口 政光(OB)	1位
東京オリンピック大会	グレコ・B	市口 政光(OB)	1位

40年

- 西日本学生個人選手権大会にグレコ・ローマンを入れる
- 春季リーグ戦優勝（3連勝、18回目）
- 秋季リーグ戦優勝（4連勝、19回目）
- 伴義孝、米国遠征日本代表チーム・コーチ
- 佐藤秀雄、米国遠征日本代表



部 長	高 堂 俊 弥			
監 督	佐々木 敏			
コ ー チ	西 脇 義 隆			
主 将	早 淵 隆 弘			
副 将	西 山 武 男			
主 務	今 村 房 雄	副 務	波 辺 和 夫	
学連委員	今 村 房 雄 (副委員長)			
4	今 村 房 雄、	近 藤 圭 吾、	松 田 嘉 之 (現 田辺嘉之)	
	丹 司 意、	西 山 武 男、	早 淵 隆 弘	
3	中 野 憲 一、	佐 藤 秀 雄、	山 本 邦 夫、	井 加 田 幸 雄
	住 谷 昌 昭、	加 藤 芳 明		
2	石 井 克 周、	藤 田 裕 充、	大 簾 一 弘、	大 津 馨
	岡 田 雅 勝、	渡 部 和 夫、	樋 口 利 輝	
1	倉 橋 裕、	長 井 暁、	好 井 俊 治、	高 祖 侃
	村 上 勝、	笹 井 六 男		

この年の思い出・40

西山武男

1 回生時 ○月×日

新人戦に松田、今村、近藤君が出場し、残念ながら1回戦で敗退して皆んな丸坊主になりました。

1 回生時 ○月×日

リーグ戦に、1回生でいきなりレギュラーに起用された名門大阪市立出身早淵君の大活躍もあり春季リーグ戦に優勝しました。

1 回生時 ○月×日

新人歓迎コンパと優勝コンパが天六であり、優勝カップで飲んだビールの味は格別でした。

1 回生時 ○月×日

お袋を亡くした西山君を慰めに皆んなで大和へ行き、川に泳ぎに行くと近藤君は急流に足をとられ、岩にしがみつきましたがパンツを流されそうになりました。

1 回生時 ○月×日

初めての夏の合宿はあまりにもきつく、先輩達にしごかれ（愛のムチ？）通しで、夜合宿所の屋上へこっそり抜け出し、梅田の方のネオンを見ながら皆んなで泣きました。

1 回生時 ○月×日

秋のリーグ戦前に部員の練習休み（サボリ）が多いため、45日間の長い長い合宿を経験しました。

2 回生時 ○月×日

西山君が復部し、中井君が入って早淵、丹司、松田、今村、近藤、中井、西山の7人衆が揃いました。

2 回生時 ○月×日

鬼先輩の西脇先輩が仕事の都合で九州へ転勤され、皆んなで、手をたたいて喜びました。

3 回生時 ○月×日

夏の合宿で穴吹へ行き、弧軍奮闘の村山キャプテンを助けて、頑張りました。

3 回生時 ○月×日

秋、東京オリンピックが開催され市口先輩がグレコローマン・バンタム級で見事金メダルを獲得され、皆んなで歓喜しました。新幹線が開通し、大阪東京間が3時間10分になりました。

4 回生時 ○月×日

主将の早淵君が急に倒れ大変心配しましたが、根性の闘将らしく1ヶ月程の休養で良くなりました。しかし残念ながらこの時いろんな事があり7人の間に溝が出来てしまいました。

4 回生時 ○月×日

千里祭で実況放送の大観衆の中、村上、山本、早淵、西山、のメンバーで、アンカー西山君の活躍でラグビー、野球部等の強豪を退けてレスリング部として初めてクラブ対抗リレーに優勝しました。

4 回生時 ○月×日

夏、冬時のアルバイトといえは 何んといっても 阪急のアルバイト 主任通称ロイヤルの 房夫ちゃん（今村君）が有名でした。彼は学連の委員長も努め、文字通りの親分肌の名マネージャーでした。

4回生時 ○月×日

松田君が肩を脱臼してしまい、最後のリーグ戦に出場出来ず残念でした。

4回生時 ○月×日

7人揃って無事卒業出来る事となり、秀才揃い？、部の送り出しコンパがあり、最後に初島へ行って、ついでに筆おろしの方も卒業しました。

40 春 (40年5月20、21、22、23日、大阪府立体育館別館)

関学	⑧	—	3	名城大
関大	⑪	—	0	桃山大
同大	⑦	—	4	名商大
近大	⑧	1引分け	2	桃山大
関大	④	フール 勝3引分	4	同大
近大	⑥	—	5	名城大
名商大	⑧	—	3	桃山大
関大	⑩	—	1	名城大
関学	⑧	—	3	名商大
同大	⑧	—	3	近大
名城大	⑦	—	4	桃山大
関大	⑨	—	2	名商大
同大	⑨	—	2	名城大
関大	⑧	—	3	近大
同大	⑥	1引分け	4	関学
関学	⑧	1引分け	2	桃山大
名商大	⑧	—	3	名城大
同大	⑩	—	1	桃山大
近大	⑦	—	4	名商大
関大	⑥	1引分け	4	関学

主要戦個人勝敗表

	関大	⑥	1引分け	4	関学
F	岡田	○	—		栗野
F	松田		8分31秒		◎福井
B	加藤		—		○安部
B	山本		—		○横山
F e	西山		—		○川畑
F e	佐藤	○	—		椿谷
L	大津	◎	3分42秒		堀
L	中野	○	—		藤原
W	大藪	△	分		△佐野
W	井加田	○	—		柳瀬
M	藤田	◎	1分31秒		飛岡

順位

1	関大	6勝
2	同大	5勝1敗
3	関学	4勝2敗
4	近大	3勝3敗
5	名商大	2勝4敗
6	名城大	1勝5敗
7	桃山大	6敗

40 秋

(40年11月25、26、27、28日、大阪府立体育館別館)

同大	⑨	1引分け	1	名城大
関大	⑩	—	1	桃山大
関学	⑨	1引分け	1	名商大
近大	5	—	5	桃山大
同大	⑧	—	3	近大
関大	⑦	—	4	関学
近大	5	—	5	名城大
名商大	⑧	—	3	桃山大
関大	⑩	—	1	名城大
同大	⑨	1引分け	1	名商大
関学	⑧	1引分け	2	近大
名城大	⑥	—	3	桃山大
関大	⑩	1引分け	0	名商大
関学	⑨	—	2	名城大
関大	⑦	1引分け	3	近大
関学	⑥	—	5	同大
同大	⑩	—	1	桃山大
名商大	⑦	—	3	名城大
関学	⑩	—	1	桃山大
名商大	⑦	1引分け	3	近大
関大	⑤	1引分け	5	同大

主要戦個人勝敗表

	関大	⑦	—	4	関学
F	今村	—	—	—	○福井
F	岡田	○	—	—	栗野
B	加藤	—	—	—	○横山
B	山本	◎	7分47秒	—	安部
F e	西山	—	—	—	○阿部
F e	早淵	—	—	—	○川畑
L	大津	○	—	—	椿谷
L	中野	◎	6分25秒	—	佐野
W	倉橋	○	—	—	藤原
W	大藪	◎	7分45秒	—	飛岡
M	藤田	◎	不戦勝	—	—

順位

1	関大	6勝
2	関学	5勝1敗
3	同大	4勝2敗
4	名商大	3勝3敗
5	名城大	1勝4敗1分
6	近大	4敗2分
7	桃山大	5敗1分

40 個人戦

西日本学生選手権大会	フリー・L	中野 憲一	1位
	〃・M	藤田 裕充	2位
	〃・M	好井 俊治	3位
	グレコ・F	松田 嘉之	1位
	〃・B	山本 邦夫	1位
	〃・B	中井 勲	2位
	〃・B	樋口 利輝	3位
	〃・F e	佐藤 秀雄	1位
	〃・F e	丹司 恵	2位
	〃・L	中野 憲一	2位
	〃・W	井加田幸雄	3位
	〃・M	藤田 裕充	1位
	〃・M	好井 俊治	2位
全日本学生選手権大会	グレコ・F	山本 邦夫	2位
米国西部選手権大会	フリー・F e	伴 義孝(O B)	1位
米国海軍選手権大会	フリー・F e	伴 義孝(O B)	1位